

エネクス石販
西日本セルフ高槻

人命救助で所長ら表彰

【大阪】マンション三階ベランダから誤って落下しかけ、宙つり状態になった市民を助けたとして、高槻市消防本部（山本正憲消防長）は八日、エネクス石油販売西日本（本社広島市中区・小林敏章社長）セルフ高槻給油所（コスモ系）高槻市浦堂）の片岡隆所長と森下正夫副所長の両氏を表彰した。

人命救助の経緯について、片岡所長は「今年九月二十六日に顧客と雑談中に、当給油所に対面して立地するマンション三階ベランダから人が落ちかけている光景を目撃。一目散に森下氏と現場に駆けつけた。落下しかけているのは男子中学生で、ベランダの手すりに

足首がひっかかり、なんとか宙ぶらりんの状態とどまっていた。だが体格がよい子で体重もあり、今にも落ちそうだったため森下氏とほかの住民含めて三人で懸命に体を支えた。下はコンクリートで、頭から落ちたら大変なことになると思い必死だった」と語る。懸命の救出劇は救急車が到着するまでの約十五分間続いた。

到着した救急車に無事に収容されて、大事には至らなかった。当時の緊張した状況を、森下氏も「支えていたことで脚や太ももは、あとでパンパンに張ったが、そのときは助けるのに無我夢中だった」とふり返る。

八日の表彰式には、山

本消防長ら、消防関係者四人が同給油所を訪れ、山本氏から片岡、森下両氏に表彰状が手渡された。エネクス石油販売西日本関西営業部の坪田浩一部長も同席し「社会貢献活動を進めているわが社にとって最高の地域貢献ができた」として、両氏の功績をたたえた。



表彰状を手にする片岡所長（右から2人目）と、森下副所長（右端）